



## 2025年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年5月15日

上場会社名 株式会社アイリックコーポレーション 上場取引所 東  
コード番号 7325 URL <https://www.irrc.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 勝本 竜二  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 相原 尚昭 TEL (03)5840-9551  
配当支払開始予定日 -  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年6月期第3四半期の連結業績（2024年7月1日～2025年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期第3四半期	6,786	19.8	500	39.4	507	30.4	298	33.6
2024年6月期第3四半期	5,666	30.0	358	175.2	389	184.8	223	-

(注) 包括利益 2025年6月期第3四半期 306百万円 (37.4%) 2024年6月期第3四半期 223百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年6月期第3四半期	36.36	36.09
2024年6月期第3四半期	26.85	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年6月期第3四半期	5,477	3,800	68.4
2024年6月期	5,185	3,677	70.0

(参考) 自己資本 2025年6月期第3四半期 3,746百万円 2024年6月期 3,632百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期	-	0.00	-	20.00	20.00
2025年6月期	-	0.00	-	-	-
2025年6月期（予想）	-	-	-	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年6月期の連結業績予想（2024年7月1日～2025年6月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,640	21.7	700	41.3	705	30.9	422	20.0	51.41

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無  
新規－社（社名）－、除外－社（社名）－

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：有
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年6月期3Q	8,708,000株	2024年6月期	8,708,000株
② 期末自己株式数	2025年6月期3Q	508,769株	2024年6月期	500,667株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年6月期3Q	8,199,231株	2024年6月期3Q	8,312,907株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更に関する注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2024年7月1日から2025年3月31日まで)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善に伴い、景気は緩やかな回復が続くことが期待されます。その一方で、物価上昇の継続やアメリカの通商政策による影響等に対して、引き続き注視していく必要があります。

このような外部環境の下、当社は「人と保険の未来をつなぐ～Fintech Innovation～」という企業テーマを掲げ、保険分析・販売支援におけるプラットフォームとしての事業展開を推進しております。また、独自開発した「保険IQシステム®」、「ASシステム」、「AS-BOX」及び「スマートOCR®」を活用し、システムユーザーの更なる拡大を目指しております。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ・保険販売事業

直営店部門は、『保険クリニック®』のイメージタレントである藤岡ファミリーを前面に出し、顧客層をターゲット化した効率的なWeb広告やSNS等を継続して実施いたしました。また、店頭での集客への施策も強化した結果、Web及び店舗での来店予約数は増加し、新規来店件数が前年同期比16.6%と好調に推移いたしました。また、一時払い終身保険や変額保険等の特定商品の販売が伸び、前年同期を上回りました。株式会社ライフアシストについては、保険募集人の新規採用を強化し増収となりましたが、一時的な支出の増加により営業利益は前年同期を下回りました。

法人営業部門は、ほぼ社内計画通りに進捗し、売上高は前年同期を上回りました。

この結果、同事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は4,262,353千円(前年同期比25.5%増)、セグメント利益は356,613千円(同20.3%減)となりました。

#### ・ソリューション事業

AS部門は、ASシリーズについては14,010IDと堅調に推移いたしました。今後も全国規模の金融機関や保険会社、地方銀行、企業代理店による新規導入の獲得に向けて注力しております。「スマートOCR®」については前年同期に大型の契約があったことにより、売上高は前年同期を下回りましたが、引き続き、大手保険会社や地方銀行、企業代理店向けのプロジェクトも複数継続しており、具体的な導入に向けての検討が進んでおります。

FC部門は、3月末のFC店舗数が197店舗となりました(当第3四半期連結累計期間で、18店舗オープン、14店舗クローズ)。新規FC加盟登録企業の増加により増収いたしました。今後も、①新規加盟店登録、②新規出店、③保険販売指導等、加盟店の支援を行ってまいります。

この結果、同事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は1,570,199千円(前年同期比0.4%減)、セグメント利益は482,243千円(同19.5%増)となりました。

#### ・システム事業

株式会社インフォディオは、2024年6月期に営業強化のための人財確保を積極的に行った結果から、官公庁や大手企業から「スマートOCR®」の新規導入が増加しました。また、既存のサービスの利用が増えたことで、サブスクリプション収益やリカーリング収益も好調に推移しました。

さらに、「スマートOCR®」に加え、新サービスであるエンタープライズサーチ「brox®」に関して複数の大手企業グループに新規導入があり、引き続き多くの引き合いをいただいております。今後の成長が期待されます。

この結果、同事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は953,729千円(前年同期比37.7%増)、セグメント利益は132,107千円(前年同期はセグメント損失2,887千円)となりました。

(注)「スマートOCR®」とは、AI(人工知能)を搭載し、ディープラーニング技術(深層学習、人間が自然に行うタスクをコンピュータに学習させる機械学習の手法の一つ)を活用した、非定型帳票対応の次世代型光学的文字認識システムです。

(注)「brox®」とは、紙文書をAI-OCRでテキストデータ化し、PDFや画像データに加えExcel・Word・PowerPointなどのOffice系ドキュメントも横断的に全文検索ができるエンタープライズサーチです。

販売費及び一般管理費につきましては、人財投資、店舗数増に伴う賃料等の増加、広告宣伝費の増加、システム開発に伴うソフトウェア償却等から、当第3四半期連結累計期間の販売費及び一般管理費は4,787,434千円

(前年同期比17.2%増)となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高6,786,281千円(前年同期比19.8%増)、営業利益500,278千円(同39.4%増)、経常利益507,858千円(同30.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益298,159千円(同33.6%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は3,253,284千円となり、前連結会計年度末に比べ236,506千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が147,443千円、売掛金及び契約資産が74,889千円、その他の流動資産が14,544千円増加したことによるものであります。固定資産は2,223,829千円となり、前連結会計年度末に比べ54,756千円増加いたしました。これは主に有形固定資産が65,046千円、ソフトウェアが100,442千円増加し、投資有価証券が100,000千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、5,477,114千円となり、前連結会計年度末に比べ291,262千円増加いたしました。

### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は1,604,185千円となり、前連結会計年度末に比べ167,100千円増加いたしました。これは主に契約負債が450,010千円増加し、未払費用が71,740千円、未払金が69,233千円、未払法人税等が58,303千円及び1年内返済予定の長期借入金が52,000千円減少したことによるものであります。固定負債は72,689千円となり、前連結会計年度末に比べ1,689千円増加いたしました。これは主に繰延税金負債が10,186千円増加し、長期借入金が16,000千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、1,676,875千円となり、前連結会計年度末に比べ168,789千円増加いたしました。

### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は3,800,239千円となり、前連結会計年度末に比べ122,473千円増加いたしました。これは利益剰余金が134,012千円、自己株式が20,250千円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は68.4%(前連結会計年度末は70.0%)となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2024年8月26日の「2024年6月期決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,870,849	2,018,293
売掛金及び契約資産	911,293	986,183
その他	239,027	253,572
貸倒引当金	△4,391	△4,763
流動資産合計	3,016,778	3,253,284
固定資産		
有形固定資産	225,465	290,512
無形固定資産		
のれん	179,057	168,558
ソフトウェア	567,439	667,881
ソフトウェア仮勘定	69,724	34,621
顧客関連資産	367,897	369,311
その他	679	679
無形固定資産合計	1,184,798	1,241,052
投資その他の資産		
投資有価証券	133,481	33,481
保証金	452,394	465,744
繰延税金資産	62,616	69,454
その他	158,716	171,984
貸倒引当金	△48,400	△48,400
投資その他の資産合計	758,808	692,264
固定資産合計	2,169,073	2,223,829
資産合計	5,185,851	5,477,114

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	57,822	99,240
1年内返済予定の長期借入金	74,000	22,000
未払金	399,461	330,228
未払費用	139,393	67,653
未払法人税等	174,657	116,354
契約負債	302,096	752,107
賞与引当金	41,052	25,946
役員賞与引当金	33,626	—
その他	214,973	190,654
流動負債合計	1,437,085	1,604,185
固定負債		
長期借入金	16,000	—
繰延税金負債	43,025	53,211
その他	11,974	19,477
固定負債合計	71,000	72,689
負債合計	1,508,085	1,676,875
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,354,780	1,354,780
資本剰余金	1,302,859	1,302,859
利益剰余金	1,344,599	1,478,612
自己株式	△369,923	△390,173
株主資本合計	3,632,317	3,746,079
新株予約権	15	15
非支配株主持分	45,433	54,144
純資産合計	3,677,765	3,800,239
負債純資産合計	5,185,851	5,477,114

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
売上高	5,666,159	6,786,281
売上原価	1,221,255	1,498,568
売上総利益	4,444,904	5,287,713
販売費及び一般管理費	4,086,127	4,787,434
営業利益	358,776	500,278
営業外収益		
受取利息	201	1,015
受取賃貸料	16,322	18,655
受取補償金	23,825	—
助成金収入	2,638	834
その他	2,587	4,042
営業外収益合計	45,575	24,548
営業外費用		
支払利息	484	498
賃貸収入原価	13,049	16,256
その他	1,376	213
営業外費用合計	14,911	16,968
経常利益	389,440	507,858
特別利益		
固定資産売却益	—	3,808
受取和解金	—	11,318
特別利益合計	—	15,126
特別損失		
固定資産除却損	1,526	3,713
減損損失	3,463	—
情報セキュリティ対策費	—	10,289
特別損失合計	4,989	14,003
税金等調整前四半期純利益	384,450	508,981
法人税、住民税及び事業税	149,023	198,763
法人税等調整額	12,135	3,348
法人税等合計	161,159	202,111
四半期純利益	223,291	306,869
非支配株主に帰属する四半期純利益	65	8,710
親会社株主に帰属する四半期純利益	223,226	298,159

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
四半期純利益	223,291	306,869
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	-	-
四半期包括利益	223,291	306,869
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	223,226	298,159
非支配株主に係る四半期包括利益	65	8,710

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項但し書きに定める経過的な取り扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)但し書きに定める経過的な取り扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取り扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計基準の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
減価償却費	162,137千円	241,550千円
のれんの償却額	19,731	14,122

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	保険販売事業	ソリューション事業	システム事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,396,364	1,576,947	692,847	5,666,159	—	5,666,159
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	4,222	357,278	361,500	△361,500	—
計	3,396,364	1,581,169	1,050,125	6,027,659	△361,500	5,666,159
セグメント利益又は損失(△)	447,616	403,561	△2,887	848,290	△489,513	358,776

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

(2) セグメント利益又は損失(△)の調整額△489,513千円には、セグメント間未実現損益の消去△39,121千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△450,392千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない管理部門等の販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	保険販売事業	ソリューション事業	システム事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,262,353	1,570,199	953,729	6,786,281	—	6,786,281
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	7,746	318,810	326,556	△326,556	—
計	4,262,353	1,577,945	1,272,539	7,112,838	△326,556	6,786,281
セグメント利益	356,613	482,243	132,107	970,963	△470,684	500,278

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

(2) セグメント利益の調整額△470,684千円には、セグメント間未実現損益の消去△16,507千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△454,177千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない管理部門等の販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。